



### 将来的な人口減少に向けての対策は

#### 令和 32 年まで増加が続くと見込む

令和会  
さいとう なおこ  
齋藤 直子 議員



**議員** 2023 年の住民基本台帳に基づく「人口移動報告」で、市は県内 3 番目の転出超過となった。将来的な人口減少に向けての対策は。

**市長** 令和 32 年まで人口増加が続く見込み。事業の優先度は、人口の増減、年齢層の変化にも着目し、各年代のニーズに合わせた事業展開を検討し、必要な財源を効果的に投入できるよう取り組む。

**議員** 目指す人口規模のビジョンを明確にするために、人口分析を行なうチームの設置を要望する。

#### 市内樹木の保存についての考えは

**議員** 美里町とカーボンオフセットで森林整備をしていくとのことだが、市内樹木の保存の考えは。

**市長** 緑の基本計画に基づき、樹木の保全に努めているが、止むを得ない伐採が増えている現状がある。植物が本来有する能力を人工的に補完するグリーンインフラの考えにより、緑化を計画的に推進することで、温度の抑制や二酸化炭素の吸収にも寄与すると考える。



緑があふれていた以前の市役所

#### 市役所庁舎の健全度調査の実施は

**議員** 庁舎敷地の外構である擁壁の経年劣化に係る修繕とともに、庁舎の躯体などの調査も必要と考えるが、実施は。

**市長** 平成 27 年度の調査結果を踏まえ、再度実施する予定はない。

**議員** 「DX」というワードに象徴される変革の時代にあった庁舎を要望する。

めの予算措置を。

**市長** スクールサポーターの運用はまだ始めたばかりであり、今後、成果や課題を分析し研究する。

#### 2050 年ゼロカーボンシティ宣言の表明を

**議員** 地球温暖化対策のさらなる強化のため、2050 年ゼロカーボンシティ宣言の早期表明を。

**市長** 表明は、3 月議会閉会后、速やかに表明する。

#### 福祉センターの在り方を検討する観点は何か

**議員** 災害が起きた時に避難所となる福祉センター。どのような観点で、在り方の検討を行うのか。

**市長** 社会状況や地域のニーズなどをしっかり把握し、どのような役割や機能が必要かを検討する。



災害時の避難所となる福祉センター

# 一般質問

そこが聞きたい!

議員は、毎年 3 月、6 月、9 月、12 月に開催される定例会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、15 人が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しています。

なお、各ページに掲載している QR コードから、各議員の一般質問の録画配信映像をご覧ください。



### 困難女性支援法



つぶやき

アウトリーチと伴走型の相談支援強化が重要

戸田の会  
あそ かつ ひで  
浅生 和英 議員

**Q** 4 月から施行される。相談体制の強化を

**A** 相談支援体制の在り方を検討していく

**議員** これまでの法制度では、支援内容が多様化・複雑化する中で、女性特有の問題に対する支援が不十分であった。支援団体との協働なども盛り込まれ、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が 4 月から施行される。相談体制の強化を求める。

**市民生活部長** 相談体制の強化は、職員の研修受講によるスキルの向上などが考えられる。県の基本計画の内容を踏まえ、相談支援体制の在り方を検討していく。

#### その他の質問

**Q** 重層的支援体制整備事業で相談体制の強化を。

**A** 事業の導入で、共通認識を持ちながら統一的な対応が期待され、アウトリーチの相談支援体制の強化が図れる。

**Q** 今回の図書館システム更新を評価している。環境整備としてテレワークブースの設置はどうか。

**A** 指定管理者や利用者の意見を踏まえ研究する。

**Q** 消防団詰所の老朽化などの更新について、計画的に行ってはいかがか。

**A** 今後、調査を含め計画的な整備を研究する。



消防団第 6 分団